

## 会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日時	平成29年2月28日(火) 14:00~15:00
場所	沖縄県立図書館3階研修室
出席委員名	望月道浩会長、豊見山恵美子委員、金城由美子委員、新垣吉宗委員、 呉屋美奈子委員、上江洲豪委員
議題及び報告事項	1開会 2館長あいさつ 3議事 報告事項 1 県立図書館の運営状況について(平成28年度) 2 次年度予算の要求状況について 3 その他 4各委員からの図書館への質疑・提言 5閉会
議事の概要	報告事項に対する質疑応答を行った。 委員からの質疑及び提言は議事録のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 亀島・桑江 電話 098-834-1218
備考	

## 平成28年度第2回沖縄県立図書館協議会 議事録

日 時 : 平成29年2月28日(火) 14:00-15:00

場 所 : 沖縄県立図書館3階 研修室

出席者 : 望月道浩会長、豊見山恵美子委員、金城由美子委員、新垣吉宗委員、  
呉屋美奈子委員、上江洲豪委員

傍聴者 : なし

### 次第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
- 4 委員の皆様から図書館へのご提言
- 5 閉会

### 〈議事内容〉

まず、宮里館長が挨拶を行い、その後望月会長の進行により下記の4つの議事について事務局の説明及び委員からの質疑応答を行った。議事における発言要旨は以下のとおり。

〈議事①県立図書館の運営状況(平成28年度下半期)及び議事②平成29年度県立図書館の予算(案)の概要〉

### 委員

資料の「世界のウチナーンチュ大会の開催における移民展等の実績」ですが、新聞等でも見て、大変良い取組だと思います。資料の下方に書かれている「特設ページを設置し継続的に実施している」とありますが、移民1世ルーツへの問い合わせは、現在どのくらいありますか。

### 事務局

県立図書館のホームページのトップページに特設ページを設けて、移民1世ルーツ調査の為の申込書を掲載しております。世界のウチナーンチュ大会が今年の10月27日～30日の間にあり、その後から本日まで26件問い合わせがありました。その内20件がメール等、残り6件が、来館してのレファレンスです。

国別だとアメリカが20件、その他キューバ・ペルー・ブラジル・アルゼンチン等からメール等で照会があったと担当より報告がありました。

### 委員

市町村でも例えば、恩納村であればウチナーンチュが図書館に来館し、レファレンスを受けることがあります。県立図書館の取組は良いと思っておりますが、世界のウチナーンチュ大会のノウハウ等を市町村立図書館に伝達することは考えていますか。

### 事務局

公立図書館協議会の館長部会でも今の話を当館からしており、5年後のウチナーンチュ大会には市町村

立図書館も一緒になって、取り組んでいこうとお願いしました。その方がお互いのスキルアップに繋がると話をしております。

#### 委員

資料「世界の絵本読み聞かせ会」については県の文化観光スポーツ部交流推進課と連携をして、読み聞かせを開催していますが、講師謝礼や派遣費等の予算の分担等はどのようになっていますか。

#### 事務局

講師謝礼については国際交流員の業務の一環として行っているため、謝礼の支出はありません。移動図書館派遣費については、今年度は費用弁償として旅費相当分を負担しています。

文化観光スポーツ部交流推進課との連携は、小学生以下の子供たちに対して、国際交流員による読み聞かせ等を行って自国の文化等を普及したいとの目的があります。県立図書館と一緒に活動することが双方に取っても良いのではとの提案があり、行っています。

今回、伊江村の移動図書館があり、中国から来ている国際交流員の方と一緒に行きました。その際に午前中は一緒に保育園等を回って子供たちに読み聞かせを行いました。交流推進課の方も市町村で子供たちとの関わり合いを通して自国の文化の普及をしたいとのことで、次年度の派遣交流については検討するそうです。

#### 事務局

別添の資料に伊江村での移動図書館の記事（琉球新報）がありますのでご覧下さい。  
子供たちが大変喜んでいました。

#### 委員

関連して、「世界の絵本読み聞かせ会」ですが、9月14日から3月8日までの日程で、どの程度の参加者が来ていましたか。

#### 事務局

第2水曜日の読み聞かせ会については、交流推進課の方が募集をかけて、保育園等に連絡をして園児を集めています。お話コーナーに入るくらい的人数ですので、1団体、たまに2つの保育園が読み聞かせに参加する時があるので、多くて30名から40名くらいの園児が参加しています。

#### 委員

館長から、今年度の図書館の運営等の話がありましたが、健康医療のセミナーの開催については、いい取り組みだと新聞でも拝見していました。60台後半になると2人に1人は癌だということも聞きます。身近な人が、癌になったりしますが、健康で過ごせる社会であれば良いと思っています。そして1人1人が健康な老後をとっていますが、癌についても県民の課題として、図書館でもセミナーを開催していることは良いことだと思っています。

また、移動図書館の空飛ぶ図書館のネーミングが非常に可愛くて、新聞を読んで元気な気持ちになります。今後も引き続き取り組みをお願いいたします。「空飛ぶ」と言うだけで元気が倍増するネーミングです。

#### 事務局

別添の Twitter の記事ですが、琉大のがんセンターから250冊の癌に関する新書を提供頂き、その時の贈呈式の写真でございます。県の病院事業局も参加して、非常に幅広い体制で連携させて頂いておりま

す。

この提供図書の予算は県が負担し、琉大のがんセンターが選書を行いました。

図書館はその提供図書を離島の病院や図書館へ一括貸出を行い、離島の健康医療貢献の為に役立っています。今回は石垣市立図書館へ約 150 冊近く一括貸出を行っています。3・4年前にも一括貸出をしています。その貸し出した本が古くなり、今回リニューアルして、最新の本を一括貸出を行っています。提供図書の残り約 100 冊に関しては、病院事業局と効果的な貸出の仕方の話し合いをしております。宮古地区の一括貸出については現在は協議中です。

委員

「障害者・来館困難者サービス」についてお伺いします。実施方法はどのようにしていますか（カードは来館しなくても作れるのか。該当者の認定はどのようにするのか）

事務局

ホームページに 2 月 12 日から「障害者・来館困難者サービス」の様式等を掲載していますが、利用者は今現在はいません。これから、しっかり広報します。なお、基本的に図書館の利用カードを作るのは本人又はヘルパー等、代理人でもかまわないと考えています。

委員

利用カード作成時に確認書類として障害者手帳等の写しも必要ですか。

事務局

必要となります。

事務局

事務局から運営状況の説明の補足をします。那覇市の一括貸出について、個人貸出は減少していますが、団体貸出は増加しています。病院や児童センター等に貸出を多く行っています。資料として説明不足でしたので報告します。

委員

「健康医療セミナー」について伺います。大変、県民ニーズの高いセミナーだと思いますが、健康医療情報についてのレファレンスに関する職員研修等を新たに実施する計画はありますか。医療に関する専門的な情報を扱うことになると思うので、取扱い等は慎重になり、気を遣うことがあると思います。

事務局

今回の講演会と同時に癌に関する相談会も実施しました。職員のレファレンス力を向上させるためにも、がんセンターとの連携は今後する必要があると思います。次年度あたりに職員向けの研修会を行いたいがんセンターの職員とも話はしています。

委員

研修体制は整えて、充実させてもらいたいと思います。

委員

「障害者・来館困難者サービス」について、デジ図書や大活字本が報告がありましたが、ニーズが高まってくると思いますが、読書困難者向けの資料の拡充予定はありますか。

## 事務局

大活字本は展示資料が、まだ少ないですが需要に応じて拡充して行きたいと考えます。

## 委員

来館困難者の対応を郵送にしたら、大丈夫だろうと思っていたら、郵便ポストまで行くのも大変だという話もあるので、そのあたりのハードル等、利用しやすい形がどのようなになるか今後も検討する必要性はあるかと思います。利用者の選択肢が増えることはいい取り組みだと思います。

## 事務局

1つ取り組んで行きたいと思っていることがあります。琉大病院と南部医療センターに長期入院している子供たちがいて、ボランティアの方が係わっています。まず、ボランティアの方々に大型絵本の貸出サービスを始めて、ボランティアの方々と連携します。そこから先へ進めて長期入院している子供たちに本を届けることが出来ないかを検討しています。この取り組みは平成29年度からスタートさせたいと考えています。

## 事務局

予算状況の説明の追加ですが、知の拠点パワーアップ事業がありますが、今年度から、職員の資質向上の為に、司書資格を取得する事業として別府大学に派遣をしています。次年度もまた1名、大学に派遣して、司書の資格保有者を増やして行きたいと考えております。

## 委員

事業別概要説明で課題解決支援充実事業の予算ですが、本県における様々な問題を解決するための効果はどのようなものか分かりやすく説明して頂けないでしょうか。

## 事務局

資料2に予算内訳の経費の概要があります。報酬・社会保険料・通勤費として奉仕員2名、情報処理員1名、事務補助員3名が非常勤職員として配置されます。本を購入しますので、手続き的な業務や貸出等の利用手続きをする為の人員が必要になります。

## 事務局

図書館が行う課題解決は県が抱える課題であります。図書館はその後方支援を行っています。

## 委員

直接、県民の方からのご相談にも対応されますよね。

## 事務局

そのとおりです。

## 委員

何か調べたいとか、知りたいとかで、課題解決を目的とした相談に応じるということですよ。

## 事務局

それはレファレンスということで、図書館本来の事業であります。また、健康医療セミナー等ももっと

充実させて行きたいと考えています。

委員

その部分を強化するために人員が配置されたんですね。

事務局

そのとおりです。

事務局

現在、就活サプリを毎月、起業・経営なんでも相談会を隔月ごとに定期的で開催しています。

事務局

新館オープンに向けて、大きな目玉を作らないといけないということで、主に「多文化交流や移民関係コーナー」等について作業部会が検討を始める予定です。検討して具体的なことは次年度の最後の協議会では報告ができると思います。新館では「国際性豊かな図書館」と基本方針の中にも大きく謳われていますので、新しい図書館の目玉として、ハワイ協会やハワイ大学とも連携して移民コーナーの設置を、アメリカ総領事館や基地内図書館とも連携してアメリカを中心にした多文化コーナーを設置して行きたいと考えています。

事務局

新館では、多文化コーナーを作ろうという構想が当初からあります。アメリカ・中国又は南米等とありますが、色々な国と協力しながら作って行こうと思います。現在、浦添市立図書館、名護市立図書館、宮古島市立図書館がアメリカ総領事館と連携してアメリカンコーナーを設置しています。当館でも新館に移転後はコーナー設置に向け領事館と調整しています。もう1つ、当館は全県的な視野に立って広域的なサービスが求められますので、館外協力の一括貸出をする書庫にも多文化コーナーを置くことを領事館と検討しています。領事館側もこれまで例がないことではあるが、離島の子供たちにも英語の絵本とか多読用のセット等も長期的に貸出を行いたいとの思いがあり、平成29年度から館外協力室にも多文化コーナーを設置して、そこで寄贈頂いた英語の絵本や書籍等を離島にも届けられるようなサービスも開始して行きたいと考えています。

事務局

移民コーナーは、県系1世とか移民の歴史等を学ぶ目的であり、先ほどの多文化コーナー等はアメリカや中国の歴史や文化について、学ぶことを目的としています。移民の歴史や沖縄県民に付随した移民の歴史等については、資料班の方で検討し、他国の文化歴史については、奉仕班の方で関係機関との協力のもと行っています。

議事③平成28年度からの沖縄県立図書館の評価指標について（事務局より説明）

委員

目標値について、過去に設定された目標値は、そのままとし、平成28年度と平成29年度の目標値に関しては、新たな観点で策定された方がいいと思います。

事務局

目標値の設定につきましては、もう一度、見直しを行い後日、連絡する形でよろしいでしょうか。

(平成 28 年度と平成 29 年度の目標値を新に設定する)

指標についてはいかがでしょうか。

委員

目標値の件につきましては、そのような対応をお願いします。問題は指標の方です。指標 6 のところをウェブアクセシビリティチェックサイトの評価点数からホームページアクセス件数及び Twitter フォロワー数に置き換えて設定をし直すとのいうことで、平成 28・29 年度は対応して行くとのことですがいかがでしょうか。

委員

総務省の MI チェッカーですが、沖縄県のウェブアクセシビリティ調査はどのようにしていますか。

事務局

調査をしているかは分かりません。広報課でホームページアクセシビリティマニュアルが作成されていますので、それを元にチェックをしながら、当館ではホームページを作成しています。沖縄県のホームページは図書館とは違うシステムを使用しており、知事部局のホームページはホームページをアップする前にアクセシビリティをチェックする項目があります。そこで審査が通らなければアップ出来ないような形を取られています。

委員

ウェブアクセシビリティ用のチェック項目があるということですが、自動的にチェックできるようなシステムとして作られているのでしょうか。

事務局

作られています。

委員

それは図書館のホームページでは使用できないのですか。

事務局

図書館では別のシステムを使用していますので、県のもの使用出来ません。

委員

現状でこのような事情があるため、この別の指標で平成 28・29 年度は、提案されているということですがこれでよろしいですか。

事務局

目標値については、こちらで検討してまた報告させていただきます。よろしくをお願いします。

〈議事④新館「図書館イメージキャラクター」設定に係る選考について（事務局より説明）

委員

②のところ平成 29 年度の図書館協議委員会がイメージキャラクター選考委員会（仮称）を兼ねて候補を決めて行くということですが、最終決定はどうなりますか。

事務局

最終決定は県教育庁の方で行います。

事務局

行政手続きがありますので、図書館協議会の方ではキャラクター候補を挙げて頂き、行政の方で決定し、公開する形になると思います。

委員

例えば、何百という応募があって、その中から選ぶということですか。

事務局

そうですね。最終的には上位、3点なり5点なりを図書館協議会で決めてもらうことになります。

委員

恩納村立図書館は第1回、2回と図書館キャラクターグランプリにエントリーしました。そして、入賞や審査委員会賞を頂いたりしています。非常に盛り上がっていて、図書館キャラクターのおかげで、他の図書館から覚えてもらったり、話も膨らむ形になるので、良いと思います。

事務局

キャラクターについて、今、「空飛ぶ図書館」ということで飛行機は別にキャラクターではありませんが、児童生徒が親しみやすいということで、とても喜んでもらっています。キャラクターの必要性を感じています。一括貸出が去年、今年と伸びていますが、400冊を上限として貸出をしています。これまでは、学校を中心として、貸出を行っていましたが、今年は子どもの居場所づくりの一環ということもあり、児童館等を中心にしながら、貸出を進めています。貸出本の設置場所に「小さくても実になるミニミニ図書館」と表示を行い沖縄県立図書館の広報も含めて広げていきたいと考えています。貧困対策の問題に図書館として、どのように係わっていけるのか。図書館としても何が出来るのか。ということが全国的にも広がっていくと思います。学習支援の一つとしての読書環境を整えていくことは、図書館がすぐにでも出来る場所だと考えております。多くの県民が県立図書館に来館しやすいような環境づくりを考えた時に、キャラクターなどがある方が、図書館により親しみやすくなると思います。ぜひキャラクターを作成をして行きたいと考えます。

新たにキャラクターの選考委員会を作るよりも図書館のことに精通している委員の皆様は協力して頂いた方が、図書館の理念にあった良いキャラクターが出来ると考えています。よろしく願いいたします。

委員

図書館イメージキャラクターについてですが、新館が出来る前に決めてPRしていくのか。新館と共に発表していくのか。このタイミングはどうなりますか。

事務局

平成29年度中には決定していきたいと考えています。平成30年にはキャラクターを使った表示等も作成していくと思いますので、図書館協議会は年に2回、開催していますが、回数も1回程度、増やして決めて行けたらと思います。



## 事務局

新館について、ソフト的なものは図書館で検討することになっています。このイメージキャラクターについては、図書館で検討し、新館に向けて新館の前にお披露目するのかオープニング時にするのかも含めて図書館協議会で議論してほしいと考えております。

## 事務局

先週の土曜日に世界自然遺産の TV 番組中でも奥共同売店が出ていました。その中で、奥共同売店県立図書館と当館の本が置かれていました。与根の売店の中にも県立図書館の本が置かれています。そういう意味では、「ミニミニ図書館」というのは非常に意味があり、広がっていきたくと期待しています。

## 委員

異存がなければ、承認というかたちで、よろしいでしょうか。異議がないようでしたら拍手で承認をお願いします。

## 委員

以上で本日の議題については終了となりましたが、委員の皆様から、一言感想をお願いします。

## 委員

この協議会の中で SNS を使用した広報を提案させて頂いたんですが、Twitter を開始してということで、私もフォローさせて頂いています。こういったこともやってたのかということで、とても情報が身近に感じられています。広報活動を今後も継続していつてもらいたいと思います。

## 委員

移動図書館が「空飛ぶ図書館」とすてきな名前になって、図書館の充実が益々図られて、また今日の報告では外国語での読み聞かせの交流員の派遣も僻地でも要望をすれば、派遣して頂けるということでした。地域の力をつけるための活動も充実し発展されるということで、喜んでおります。さきほども少し話が出ていましたが、沖縄県だけでなく日本全体で抱えている子どもの貧困問題に国は大変な予算をつけている中で、そこと学力向上や図書との結びつきというのは、とても大切なことだと思います。僻地の方でも子どもの貧困という問題は、さまざまな角度から四苦八苦して考えています。さきほどの話の中に、親が大変な状況にあっても子どもが自分の足で歩いて、本を借りに行けるというのがとても素晴らしいです。児童館等の拠点に充実した図書が県立図書館から運ばれてくるというのは、本当に子ども達にとっては、大変な恵みであると思います。また、僻地から貧困問題に寄与できるか私たちも考えていきたいと思いますので、今度とも協力しながら、対応していきたいと思います。

## 委員

ツイッターを拝見しましたところ、とてもおもしろい内容がありました。また、図書館の公式ツイッターとは別に非公式という、もう一つアカウントがあるのを見つけました。おそらく、職員の方が個人的にツイートしていると思います。この非公式のツイッターの内容も非常に面白く、あくまでも一個人の視点からツイートされています。公式では表現できないマニアックな表現もあると思いますが、逆にそういったところに注目するような人もいます。非公式な表現が好きな方もいると思いますので、フォロワー数が増えたときにフォロワー数を合算できるように公式のツイッターに引っ張られるようなものだったり、公式の中に投稿したい場合は、図書館全体としても表現と一個人しての表現の統一のためにも公式の中で、部門別に発信とかですと統一が出来るのではないかと思います。全体の統一と職員ごとの色も出していければと思いますので提案します。もう 1 点ですが、県立図書館の返却についてで

すが、例えば、遠方の方達が郵送で返却した場合でも受け付けることがあると思います。1冊では数百円で郵送することは出来ると思いますが、4、5冊では郵送代に千円程かかると思いますので、返却は近隣で返却できる場所があればいいと考えます。例えば、北部の方が、那覇市に私用で行った時に県立図書館で本を借りて、名護市立図書館等に返却出来るようにすることは、まだ連携が出来ていないでしょうか。

#### 事務局

広域的に図書が返却できるシステムを作っていきたいと常々考えています。一つの案として病院事業局の職員と話をする機会があり、病院でも開かれた病院づくりをめざしているとのことでした。病院に一括貸出のコーナーを設置し、そして返却ボックスも各県立病院に設置することは可能ではないか。試しに離島一つと北部あたりに、病院で返却できるというものをやってみようかという案が出ています。それから、例えば空港でも返却が可能なのか検討しています。観光客への支援の部分からして、今恩納村が、観光客の方に本の貸し出しを行っていますが、今後はそういう形で、観光振興の中で貸し出しが広がっていくと考えます。観光客の方が借りた場合に返却しやすい状態をつくるためには空港で返せると良いと話が出てます。まだ、具体的には話は進めていませんが、いろんな案は出ています。また平成29年度の協議会には、具体案を報告させて頂けるように努力していきたいと思います。

#### 委員

いろいろな事業をして、マスメディア等にも取り上げられ、非常にいい活動をしていると思います。図書館の強みは図書館同士で連携できるところだと思います。例えば、返却システムや子どもの居場所づくり等を単独で行うものと、沢山の図書館で連携できる場所があると思います。そういった広がりに関しては市町村立図書館や県立図書館も協力しながら、活動していけたら、良い事業になっていくと思いますので、今後とも連携や協力をお願いしたいと思います。

#### 委員

図書館の運営状況の中に「子どもの読書指導員の活用とあります。」これは平成25年の3月に出された「知の拠点としての図書館の果たすべき役割」という諮問を受けて答申をした中に、読書環境をしっかりと整えてゆくには、人材の育成は大事であるとのことから読書指導員を養成し、読書活動の質的向上につながる各地域の支援を担うことを提言しました。それが実際に動き出し、県立図書館や移動図書館でも読み聞かせで指導員の活用を進めているということが、報告されています。その時の委員をしておりましたので、嬉しくみております。沖縄県の図書館は、知の拠点としての役割を果たして欲しいということが謳われ、それが具現化して、動き出していることを今日の説明を聞いていて非常に嬉しく思いました。また、これからどんどん活用して進められると思っております。

#### 事務局

読書指導員と移動図書館と一緒に活動しています。また、一括貸出でいろんな児童館に本を貸していますが、図書館としては本を貸すだけでなく、子ども読書推進計画も成していますので、読書推進部分の啓蒙について、子どもや保護者、または児童館職員、その中でも読書指導員の方達と一緒に活動を行いたい。もう一つ、図書館との連携という部分では、子ども達を火曜日の休館日に図書館に来てもらい、図書館の利活用について、実際に体験してもらって、そしてそれぞれのところでは、市町村図書館もあるので、またそこを有効的に活用してもらおう。図書館の活用の仕方をこちらで教えながら、またそれぞれの地元での図書館の利用促進の部分にもつなげて行きたいと思っています。それだけでなく、いろんな読書指導員を養成することで、いろんなところに広がっていき、多角的に活用して、県内いろいろ広げていきたいと考えていますので、いい仕組みを作って頂いてありがとうございました。

## 事務局

次回の協議会までには、読書推進基本計画が出来上がり、平成 29 年度からスタートとなります。その中で、われわれは、図書館として子どもの貧困問題とか、セーフティーネットとしての図書館を全面に出しております。次回の協議会では、配布して、それもお読み頂き、「読書県おきなわ」を目指していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

## 委員

図書館の取り組みが地域に還元していくよう展開することを願っております。ご意見ありがとうございました。そろそろ時間となっていますので、協議会を閉じたいと思ひます。